

2013年6月5日  
株式会社日立製作所

## インドネシア初となる 500kV 級ガス絶縁開閉装置を生産開始

インドネシアの製造子会社の生産能力を2倍以上に増強し、グローバル・バリューチェーンを強化



日立パワーシステムズインドネシアの全景(左端が新建屋)

株式会社日立製作所(執行役社長:中西宏明/以下、日立)の電力流通システム事業における製造子会社である日立パワーシステムズインドネシア(取締役社長:安納憲次/以下、HPSI)は、生産能力を増強する工事を完了させ、本日、インドネシア共和国(以下、インドネシア)で初めてとなる500kV 級ガス絶縁開閉装置(以下、GIS)の生産を開始しました。本日、HPSI は、生産能力の増設とGIS の生産開始を記念して、インドネシア政府関係者、地元の電力会社である PT.PLN 社をはじめ多数ご臨席のもと、式典を挙行了しました。

今回の設備投資は、電力システム事業におけるグローバル・バリューチェーンの強化の一環として行うものです。日立では、今後、HPSI を主要な製造拠点一つとして活用し、インドネシアおよび東南アジア諸国連合(以下、ASEAN)、環太平洋地域で急速な市場拡大が見込まれている電力流通システムでの受注拡大を図ります。

インドネシアおよびASEAN、環太平洋地域における人口増加と経済発展に伴い、ガスタービン発電設備や石炭火力発電設備を中心とした基幹電源、風力発電システムや太陽光発電システムを中心とした自然エネルギー発電設備の需要拡大が見込まれています。このため、発電設備の増強に伴う電力送配電網の強化が必要となっています。

HPSIは、1995年に、首都ジャカルタ近郊のイーストジャカルタ・インダストリアルパーク内に設立して以来、ASEAN地域で唯一となる超高圧用電力流通設備の製造会社として実績を積み重ねてきました。今回の設備投資は、超高圧用GIS生産に対応した最新鋭の製造設備を導入して、新しい組立ラインを追加するもので、生産能力は従来より2倍以上になります。日立では、今回の設備投資により、HPSIを主要グローバル拠点の一つと位置づけ、納入先を従来のインドネシア国内向けに加えて、ASEANや環太平洋地域における電力送配電網の強化需要に対応していきます。

日立は、今回の HPSI での生産能力の増強をはじめ、今後も、インドネシアおよび ASEAN、環太平洋地域に、日立の強みである超高圧の電力流通システムを積極的に提案し、グローバルでの受注拡大をめざしてグループを挙げて事業強化に取り組んでいきます。

## ■HPSI 概要(2013 年 6 月時点)

項目	内容
社 名	日立パワーシステムズインドネシア PT. Hitachi Power Systems Indonesia
所 在 地	インドネシア共和国ブカシ県西ジャワ州チカラン地区 (1990 年に設立のイーストジャカルタ・インダストリアルパーク内に所在)
設 立 年 月	1995 年 3 月
代 表 者	安納憲次(取締役社長)
主 な 事 業 内 容	電力流通設備(GIS <sup>*1</sup> ・GCB <sup>*2</sup> )の製造
資 本 金	16,470kUSドル
従 業 員 数	約 400 名
株 主	日立製作所 99.36%、日立アジア社 0.64%

(\*1)GIS: Gas Insulated Switchgear(ガス絶縁開閉装置)

変電所には運転と機器の保護のため、電気を遮断する遮断器、線路を電氣的に隔離する断路器、アースをするための接地装置、雷から機器を保護する避雷器など、多くのスイッチが使用されている。これらの機器を単独で設置し機器間をつなぐと広い設置面積が必要となる。空気より絶縁性能に優れたガスを封入したタンク内にこれらの機器と線路も含めて収納し、設置面積を縮小化したもの。

(\*2)GCB: Gas Circuit Breaker(ガス遮断器)

変電所の運転と機器の保護のために必要とされる電気を遮断するスイッチ。空気より絶縁性能に優れたガスを封入したタンク内に機器を収納し、設置面積を縮小化したもの。

## ■照会先

株式会社日立製作所

電力システム社 電力流通事業部 事業戦略企画本部 事業企画部 [担当:古川]

〒101-8608 東京都千代田区外神田一丁目 18 番 13 号

電話 03-4564-9099 (部代表)

以 上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---